



## “ブルネイ国を救った日本人”

東南アジアにブルネイという国があります。昭和17年（1942年）より日本の戦時統治が始まり、木村強がブルネイ県知事として着任しました。当時ブルネイ国王は、アマド・タジュディン国王で、木村に養護役としてオマル・アリ・サイフディンⅢという人物を仕えさせました。日本軍は、ブルネイの発展よりもブルネイの主要産物である石油をブルネイ国民を奴隸にして日本に送ることが目的だったのですが、木村は、県知事を勤めて最初に日本軍部の反対を抑えて、多くのインフラ設備と公共設備投資を進めました。アマド・タジュディン国王は、首狩り族とブルネイで恐れられ、日本軍に抵抗し戦い、その日本軍の兵士も捕まえて首を切ったとされるイバン族を絶滅させようとしていましたが、木村は、ブルネイの発展のためには、イバン族の協力も必要ということで、イバン族を必死に説得して協力させ、ブルネイの発展の為尽くさせました。木村はイバン族の命をも救ったのです。木村はイバン族を使ってブルネイの経済発展をさせました。

そして木村は、一年のブルネイ県知事を終え帰国しました。終戦後、ある日あるブルネイと貿易をしていたある日本人商社マンが尋ねて来て、「木村さん、ブルネイにあなたに来て、会って欲しいという方がいます。ぜひブルネイに来てください。」と言われました。最初木村は、ブルネイで一県知事として軍の指令で統治していたからか心の中で「自分は行って良いのか？」と悩んでいた。しかし考えた末、行く事にしたのです。そして会いたかった方とは、かつてブルネイ県知事で勤めた時にアマド・タジュディン国王が指名して助手を仕わしてくれたオマル・アリ・サイフディンⅢ（当時ブルネイ国王で、アマド・タジュディン国王の弟で現国王のハサナル・ボルキア国王の父）でした。オマル国王は、ブルネイの現在の発展は木村の功績にある。だから、お礼と挨拶と褒美をしたいと探し続けていたのです。木村は、挨拶こそしたが、褒美は貰いませんでした。木村の功績のおかげで、現在もブルネイと日本の友好は続いているです。

なお、第二次世界大戦中は、ブルネイ港は軍港として機能し、日本海軍聯合艦隊の主力が停泊することもありました。有名な所では、1944年のレイテ沖海戦における栗田艦隊はブルネイから出撃しました。1945年8月15日の終戦まで、日本軍の勢力下に置かれていますが、敗戦により順次撤退し、この統治は終りました。なお、木村強は長崎県で検事になっています。日本人の“和”的心が、世界との『繋がり』になっているのですね。

From センター長 森 隆敏



新年のあいさつをし、「一月一日」の唄を歌って華々しく新年会がスタート。利用者さん一人一人に今年一年の健康を願い、センター長によるお屠蘇配りと女性職員によるお年賀(干柿・昆布・するめ)配りを行いました。



初日と2日目のレクリエーションは、お正月にちなんだ事を問題とした『新春！〇×クイズ!!』を実施しました。知つてそうで意外に知らないことが多く、職員・利用者の方がチーム一丸となって真剣に考え、正解した時はものすごい歓声で「ガッツポーズ」や「万歳ポーズ」が見られ、とても盛り上りました。笑いの絶えない行事となりました。



3日目は、起き上がりこぼし風の風船ボールを使い、神経衰弱のように同じ絵をめくっていく『ウッキ！ウッキ！合わせてゲーム!!』を実施しました。干支の申(三猿)の絵札を狙い、その絵札が揃えば点数がもらえ、その点数の合計を競うゲーム。ボールの面白い動きに翻弄されながら利用者の皆様、職員が一体となって盛り上がりました。



担当職員が干支であるおサルさんに扮し、司会やレクリエーションの場をおおいに盛り上げてくれ、利用者の皆様もコミカルな言動に笑顔で楽しまれました。

そして昼食は、赤飯やちらし寿司、茶碗蒸しや角煮、紅白なますやお雑煮などなど、とても豪華な行事特別メニュー。日替わりでとても彩り鮮やかなおいしい食事を堪能して頂きました。

利用者の皆さんから「こがん御馳走は食べたことなかよお～!!」と、とても喜んで頂き、「お腹いっぱいになったよ。」と満足そうな笑顔でとても好評でした。



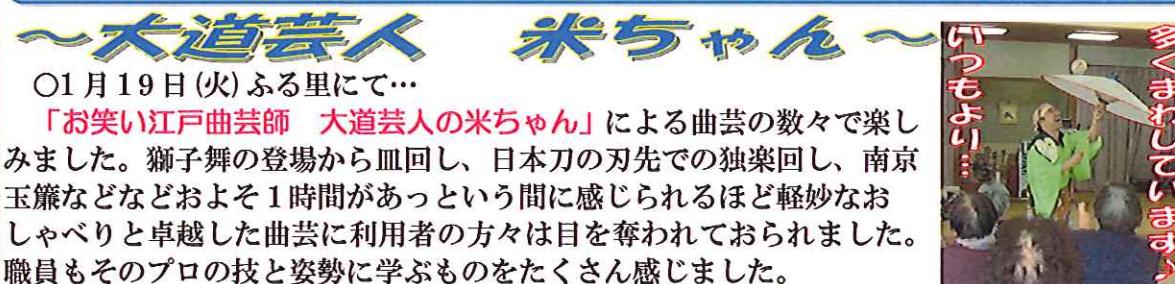
笑顔がいっぱいでおいの絶えない今年一年の幕開けにふさわしい盛り上がった行事でした。



## 訪問ボランティア!! ~大道芸人 米ちゃん~

○1月19日(火)ふる里にて…

「お笑い江戸曲芸師 大道芸人の米ちゃん」による曲芸の数々で楽しみました。獅子舞の登場から皿回し、日本刀の刃先での独楽回し、南京玉簾などなどおよそ1時間があつという間に感じられるほど軽妙なおしゃべりと卓越した曲芸に利用者の方々は目を奪われておられました。職員もそのプロの技と姿勢に学ぶものをたくさん感じました。



## 居宅介護サービスセンター ふる里

### 【居宅介護サービスセンターふる里】とは…

介護全般の相談役となり、介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援などを行い、ケアマネージャーが皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料やご利用に係る料金は無料です。

24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



## 2月の行事予定

### ◆ふる里2月行事 「ふる里豆まき」

2日(火)・3日(水)・4日(木)

- ◆生花教室 ~山崎弘子先生~ 9日(火)・24日(水)
- ◆書道教室 ~古瀬恭孝先生~ 8日(月)・25日(木)
- ◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~ 18日(木) ※1
- ◆おし花教室 ~中村寿美子先生~ 23日(火)
- ◆やわらぎ(針灸マッサージ師)~平島泰士先生~…毎週火・木・金曜
- ◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後  
3・10・17・24日実施予定

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

※2 おしゃれサロンは、先生のご都合によりしばらくお休みいたします。

## 今月の作品



## おし花教室



## 生け花教室

1月の書道教室は…  
先生の都合と雪の為  
中止となりました。  
来月をお楽しみにし  
てください。



## ふる里の中庭

皆さんにお詫びとお知らせがあります。  
先日1/25(月)は、48年ぶりの大雪で開設以来、初めてふる里は臨時休業いたしました。ご利用の皆様にはたいへんご迷惑をおかけしました。

また、ふる里には「認知症支援リーダー」の資格を持つ介護支援専門員がおります。認知症に関するお尋ね等がありましたらお気軽にご連絡ください。

編集後記 三岳健吾